

令和3年度版

『現代の国語』
『現代の書写』

教科書 特集号

特集

令和3年度版教科書の

魅力に迫る

令和3年度版

『現代の国語』

『現代の書写』

刊行にあたって

今日、SDGs（持続可能な開発目標）や Society5.0の課題提起がなされています。

私たちの「国語」のことは学びも、将来の言語（国語）生活も、これらの動向に加えてわが国の固有文化を見据えたものである必要があります。

ことば学びは、思考と感動の生涯稽古といえます。ことばの活動のうち、

「話す・聞く」はコミュニケーション生活へ、

「書く」は文章表現生活へ、

「読む」は読書生活への展開となります。

学校の国語科学習指導は、

将来の言語生活の基礎をつくるものです。

目次

Contents

2 令和3年度版

『現代の国語』『現代の書写』
刊行にあたって

中渕正堯

4 学びが大きく変わる時代に

三浦和尚

5 新しい学習評価の考え方

高木展郎

6 『現代の国語』の特徴

教材の基本構成

8 豊かな創造のための「基礎・基本」

「学び方」を学ぶ

河野智文

12 熱中と整理

文学の新教材と「読み方を学ぼう」

宮川健郎

私たちが生涯にわたって

理解活動・表現活動に駆使する言語は、

「日常言語」をベースとしてその表現上の特質から大きく

「論理言語」（科学・哲学）と「文学言語」（詩歌・散文）を

見定めてきました。

今や情報化社会の進展に伴って

「情報言語」「社会言語」の項立てが

求められるようになりました。

学習者は、これらの表現上の特質をメタ認知しつつ、

理解の方略を進め、自己の表現にも役立てていきます。

教科書の随所に設けた

「読み方を学ぼう」や「思考の方法」などの方略は、

これらをヒントに自らも発明し、

将来へかけて生かすことが期待されます。

中 刈 正 堯



なかす まさたか

『現代の国語』『現代の書写』編集委員代表。兵庫教育大学名誉教授。国語教育関係の学会の理事を務め、現在は、国語教育探究の会において文章の「比べ読み・重ね読み」の考察を進めている。著書に『ことは学びの放射線』（三省堂）他。



Cover illustration 古田 忠男

14

現代社会に必須の読み方
―「批判的な読み」を具体的に学ぶ

吉川芳則

16

深い学びの土台となる

話す・聞く力を育てる

「書くこと」で育てる思考力

語彙の質を充実させる

読書を学ぶ機会を増やす

資質・能力向上への取り組み

国語と書写の連携

宮城信
安部朋世
足立幸子

22

20

19

18

17

『現代の書写』の特徴

教えやすく学びやすい三つのサイクル

谷口邦彦

28

ユニバーサルデザインへの取り組み

指導書・教材のご案内

堀田龍也

29

30

学びが大きく 変わる時代に

三浦 和尚
愛媛大学副学長・特命教授

先

日、電車に乗っていて、隣に座った若い女性の指に見事なペンだこがあることに気づきました。これから先、こんな見事なペンだこはなくなっていくんだろうなど、しみじみ感じたことです。国際的な学力調査の結果がパソコンのキーボードの操作能力に影響されているのではないかと、本当かどうか

かわからないような考察があり、学校のICT環境の充実が図られる方向に動いています。生徒たちが一人一人タブレット端末を持って学習する時代、教科書が紙媒体を脱する時代はもう間近でしょう。学習の方法は、より実効性の高い方法に常に改善されていくべきものです。

私自身は、先日、高校生を対象とした授業で初めてパワーポイントを使いました。これまでも講演などでは使ったことはあるのですが、シートが原稿の代わりになり、安心感はあるものの、シートの展開に拘束されて、授業の躍動感は失われていたように思います。その授業でも、映像資料の提示としては絶対的な効果がありました。私にそれを使いこなす技術・能力がなかったため、ぎくしゃく感はありませんでした。

パワーポイントをはじめ電子黒板の使用など、これからの教育技術としては必要不可欠になることを実感させられました。「不易と流行」といわれる「流行」のところでしょう。

しかし一方、学習指導の「不易」をおろそかにはできないというのも自明です。「流行」が大きく変わるときは「不

易」を見失いがちになります。私は「不易」を、教師が学習者をきちんと見取ることと、学習材をより深く捉えること、つまり、子供たちに人間として向き合い理解し、言葉という文化・ツールを豊かに掘り下げていくことだと思っています。

教室での営みがその「不易」にきちんと裏打ちされているならば、若者のペンだこが小さくなるような現象は仕方ないし、問題もないように思います。

みうら かずなお

広島大学附属学校教員を経て、現在愛媛大学副学長・特命教授(国語教育学)。今年も2月に、高校で公開授業を行った。何回やっても授業の難しさは変わらないと痛感。



新しい 学習評価の考え方

高木 展郎
横浜国立大学名誉教授

令

和3年度より、中学校の学習評価が大きく変わります。観点別学習状況の四つの観点
が、学校教育法第30条第2項に示された学力の重要な要素としての「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点となります。

〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、

表現力等〕の評価規準は、学習指導要領「2 内容」の（1）に示されている指導「事項」をそのまま転記し、その文末を「～している」とすることにより「内容のまとめりごとの評価規準」となります。

特に、これまで領域として取り上げられてきた「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」は、「思考力、判断力、表現力等」として、それぞれの内容のまとめりごとに学習評価を行うこととなります。

更に、「思考力、判断力、表現力等」は、学習指導要領「2 内容」の（2）に示されている言語活動をおして指導することが求められています。

〔主体的に学習に取り組む態度〕の評価規準の作成で特に重要となるのは、粘り強い取組と自らの学習の調整を行うとともに、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の観点において重点とする内容を取り上げることです。更に、当該教材の具体的な言語活動を考えて授業を構想し、評価規準を設定します。

〔主体的に学習に取り組む態度〕については、言語活動をふまえて評価規準を作成しますが、学習評価としては、

育成すべき資質・能力を評価することが重要です。したがって、言語活動そのものを評価の対象とするのではなく、言語活動をおして育成された言語能力を評価規準として作成し、学習評価をすることが求められます。

『現代の国語』の冒頭にある「領域別教材一覧」では、学習指導要領「2 内容」の指導「事項」として示されている「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」に基づいて、教材ごとにつけたい力が一覧になっています。そのため、新しい学習評価のあり方に基づく評価規準の設定の際に活用していただくことができます。

たかぎ のぶお

横浜国立大学名誉教授。
新学習指導要領では、教材の内容の直接的な理解ではなく、教材をおして資質・能力の育成が求められています。授業づくりが、根本的に変わります。評価の内容を生徒に明示した指導が重要となります。

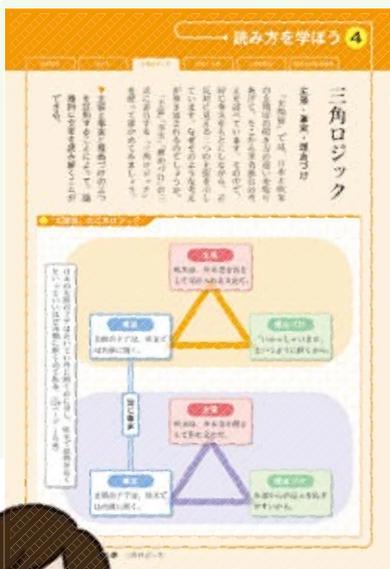


『現代の国語』の特徴

「学び方」がわかるから、
教室が活気づく！



「学び方」を学ぶ



学び方を習得し、見通しをもって自覚的に活用することで、確かな力が身につきます。

対話で深める

他者との交流・共有をおして、もの見方を広げ、自分の考えを深めます。



ウェブサイトでは特徴を動画で紹介しています。



何ができる
 ようになったか、
 実感できる！



言葉と文化を担う



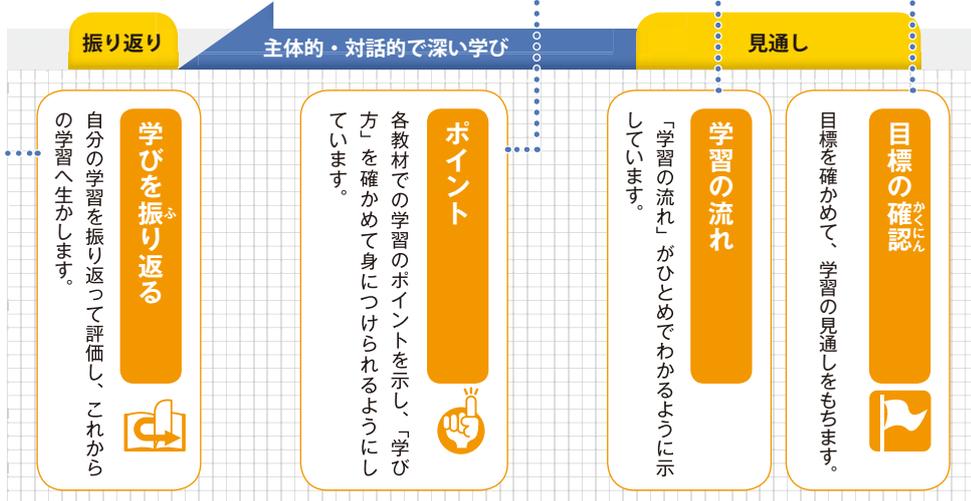
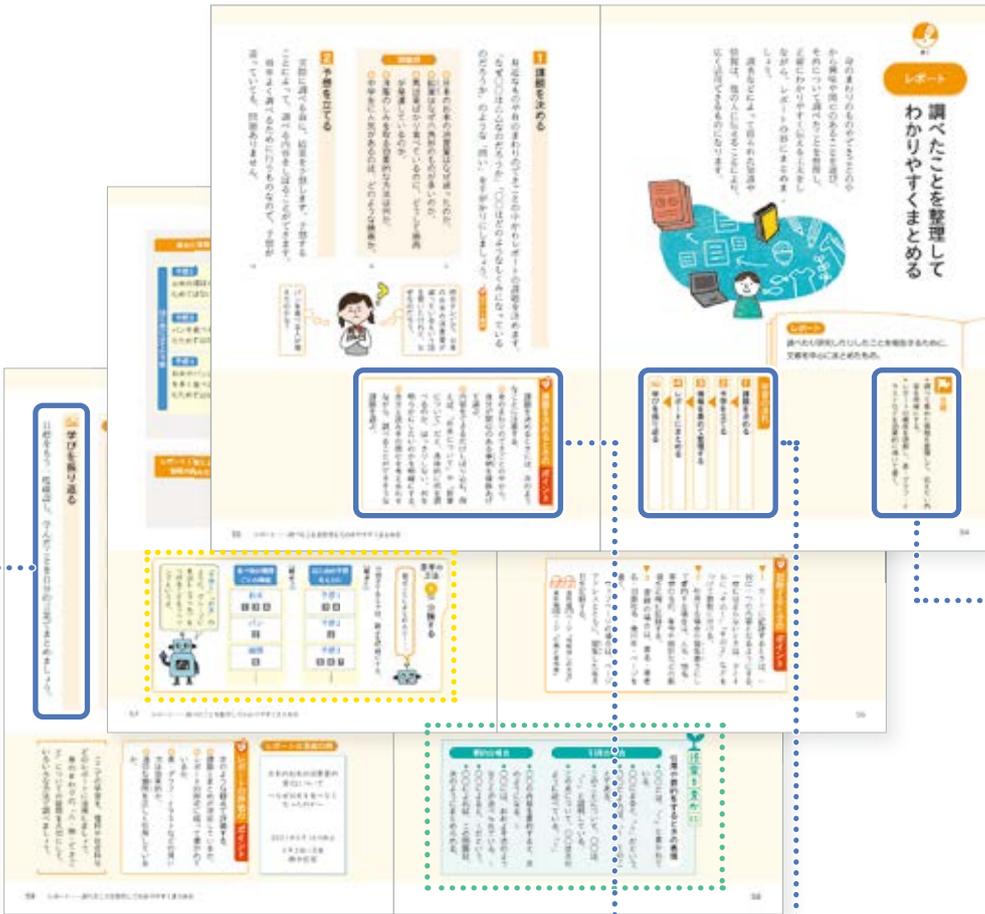
多様な教材との出会いをとおして、
 語彙を豊かにし、言語文化の担い手
 を育てます。

教材の基本構成

……
 明確な学習過程によって、
 主体的・対話的で深い学びを実現します。

各教材冒頭に目標を明示し、見通しをもって主体的に学習できるようにしました。
 教材の最後には学習を振り返る機会を設け、身についた力を自分で診断・評価し、次に生かすことができます。

- 話すこと・聞くこと
- 書くこと
- 1年書くこと「レポート」



各教材の学習活動を進めたり深めたりすることに資するよう、図解を用いてわかりやすく示し、3年間をとおして、9種類の「思考の方法」をバランスよく配置しました。

思考の方法

情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理したり深めたりする方法を各教材の学習活動と関連づけるながら取り上げています。

● 巻末の資料編には、「思考の方法」一覧を掲載しています。

○ 読むこと 1年物語「空中ブランコ乗りのキキ」

The diagram illustrates a five-step learning process for the story 'Kiki on the Aerial Swing'. At the top right, the title '空中ブランコ乗りのキキ' is shown. Below it, five steps are outlined in blue boxes, numbered 1 to 5 from right to left. Step 1 is '学びの道しるへ' (Learning Guide), Step 2 is '内容を整理する' (Organizing Content), Step 3 is '読みを深める' (Deepening Reading), Step 4 is '自分の考えを深める' (Deepening One's Own Thoughts), and Step 5 is '学びを振り返る' (Reflecting on Learning). To the right of the steps is a box for '見通し' (Overview). Below the steps are two boxes: '振り返り' (Reflection) on the left and '見通し' (Overview) on the right. The entire process is connected by dotted lines.

振り返り

主体的・対話的で深い学び

見通し

A flowchart on a grid background showing the learning process from '見通し' (Overview) to '振り返り' (Reflection). It consists of five orange boxes connected by blue arrows pointing from right to left. Each box contains a step number and a description:

- ステップ 1 目標の確認** (Confirmation of Goals): 目標を確かめて、学習の見通しをもちます。 (Check the goals and have an overview of the learning.)
- ステップ 2 内容を整理する** (Organizing Content): 情報を整理・確認して、文章の内容や構成をつかみます。自学自習にも対応した課題を設定しています。 (Organize and confirm information, understand the content and structure of the text. Assign tasks that correspond to self-study.)
- ステップ 3 読みを深める** (Deepening Reading): 文章を詳しく読み、対話をおして内容や構成・表現の仕方についての理解を深めます。 (Read the text carefully, and through dialogue, deepen understanding of content, structure, and expression.)
- ステップ 4 自分の考えを深める** (Deepening One's Own Thoughts): 文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを深めたり、広げたりします。 (Based on what you understand from reading the text, deepen or broaden your own thoughts.)
- ステップ 5 学びを振り返る** (Reflecting on Learning): 自分の学習を振り返って評価し、これからの学習へ生かします。 (Reflect on your learning, evaluate it, and apply it to future learning.)

「読むこと」では、教材の言葉をきっかけに多様な語句を取り上げ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、学習活動に即した表現例を多数提示しました。

● 巻末の資料欄には、「語彙の広がり」を掲載しています。

● 理解できる語句と使える語句の量を増やし、語感を磨くために、さまざまなテーマで教材に関連した語彙を取り上げていきます。



豊かな創造のための 「基礎・基本」——「学び方」を学ぶ

河野 智文 福岡教育大学教授

生徒へ「考えましょう」と言いながら「考え方」を、「深く読みましょう」と言いながら「読み方」を、明確に示しているでしょうか。

方法や手順を明確に意識して学習することは、見通しや振り返りの面からも、次の学習への活用や汎用的な能力の育成の面からも、意義あることです。全てを網羅することはできないにしても、学習の基本的な方法を提示することは、教科書が責任をもつてなすべき仕事のひとつだと考えます。

令和3年度版『現代の国語』では、「読み方を学ぼう」として22の「読み方」を示し、図解も用いて、具体的な教材への適用の方法や、他の学習への活用の視点を解説しました。授業の中で、「どのように学ぶか」を意識できることはもちろん、自力で復習したり、新たな文章を読んだりするときにも活用されることで、「主体的な学び」の実現も期待

1年	
① 説明文の基本構造	クジラの飲み水
② 人物相関図	空中ブランコ乗りのキキ
③ 行動描写	字のない葉書
④ 三角ロジック	玄関扉
⑤ 詩の表現技法	それだけいい
⑥ 情景描写	トロッコ
⑦ 要約	意味と意図
⑧ 語り手・視点	少年の日の思い出

読み方を学ぼう 4

具体と抽象

事例とまとめの往還

語にはさまざまな種類があります。例えば、「フロン規制の物語」に出てくる語のうち、「利益」「損失」は具体的な事物を表す語ですが、「利益」「損失」は概念を表す抽象的な語です。具体とは、物事などを明確な形や内容で示したものであり、抽象とは、いくつかの事物や場面に思い浮かべたものに共通する要素を抜き出して示したものです。

▼具体と抽象を関連して読むと、文章の内容をより論理的に理解することができる。

●「フロン規制の物語」における具体と抽象

「読書の広場」には、「読み方を学ぼう」を活用できる教材を配列しています。



かわの ともふみ

福岡教育大学国語教育ユニット教授。専攻は国語教育学、国語教育史研究、国語単元学習の研究。昭和20年代の国語科教育実践の実態とその意義を、「単元学習」を観点として明らかにしようとしています。

「ありがとう」と言わない重さ 佐々木 明

「ありがとう」と言わない重さ 佐々木 明

読書の広場 3年(p.250)「『ありがとう』と言わない重さ」

読み方を学ぼう 3年(p.98)「フロン規制の物語」

されます。令和3年度版では、それぞれの「読み方」を活用することのできる新たな読み物（「読書の広場」に掲載）へのリンクを提示しました。これにそって「腕試し」をしてもらうことで、「活用体験」を実感し、習得したことの強化もあわせて図れると考えています。

表現技法だけではなく、思考に関わる「読み方」も設定しています。例えば「フロン規制の物語」（3年）で提示する「具体と抽象」は、語句（「利益」などの抽象語）や文章構成の視点であると同時に、抽象と具体を往復して物事を捉えたり検証したりする考え方にも関わることです。

「情報の扱い方に関する事項」の新設に見られるように、思考力の育成は重要な課題です。「学びの道しるべ」には、その問いに関連した「思考の方法」（例えば「比較する」「分類する」など）を示しました。あわせて、「思考の方法」も「読み方を学ぼう」も、教科書末尾に一覧を掲載して、選択・活用できるようにしています。

教科書にある「読み方」や「思考の方法」を型通りに用いることにとどまらず、これらの基礎・基本をステップにして、新たな読み方・学び方や豊かな読み、創造的な思考へと踏みだしていくことを願っています。

現代の国語

1年(p.314)「思考の方法」一覧



思考の方法 1年(p.28)「竜」

3年			2年										
6 反復	5 状況・背景	4 具体と抽象	3 省略	2 批判的な読み	1 回想	8 心内語	7 例示	6 象徴	5 物語の転換点	4 図表と文章	3 想像	2 発展的な論の展開	1 人物設定
故郷	おくのほそ道	フロン規制の物語	俳句の世界／俳句十句	問の文化	握手	走れメロス	動物園でできること	小さな手袋	平家物語	一〇〇年後の水を守る	短歌の世界／短歌十首	人は他の種に住むことができるのか	セミロングホームルーム

教材末の二次元コードから「読み方を学ぼう」を活用した図解例が見られます。



熱中と整理

文学の新教材と「読み方を学ぼう」

宮川健郎 武蔵野大学名誉教授

令和3年度版『現代の国語』の「読むこと」の教材文学的文章は、教材と「学びの道しるべ」、平成28年度版から新設されたコラム「読み方を学ぼう」の三つの組み合わせで成り立っています。

「読み方を学ぼう」は、例えば、「少年の日の思い出」(1年)なら「語り手・視点」、「走れメロス」(2年)なら「心内語」、「故郷」(3年)なら「反復」というテーマが配置されています。「読み方を学ぼう」は、教材を深く読み味わう手がかりになり、教材は、読み方を学ぶのに適切な例になっています。

右にあげたようなタイトルは、以前から掲載されている安定的なものですけれども、2年生が最初に会おう小説「セミロングホームルーム」は、令和3年度版に書きおろされた、新しい教材です。作者は、『ぼくたちのリアル』講談社・二〇一六年刊、産経児童出版文化賞ほか受賞でデビューした新進



2年(p.20)「セミロングホームルーム」



みやかわ たけお

武蔵野大学名誉教授。昨年春に退職して、家でごはんを作ることが多くなりました。新聞の暮らしのページに掲載されるレシピが頼りになります。説明にしたがって、未知の食べ物を実現していくのですから、料理もまた「読むこと」でしょうか。

「セミロングホームルーム」の著者戸森しるこさんのエッセイをお読みいただけます。



の児童文学作家、戸森しるこです。

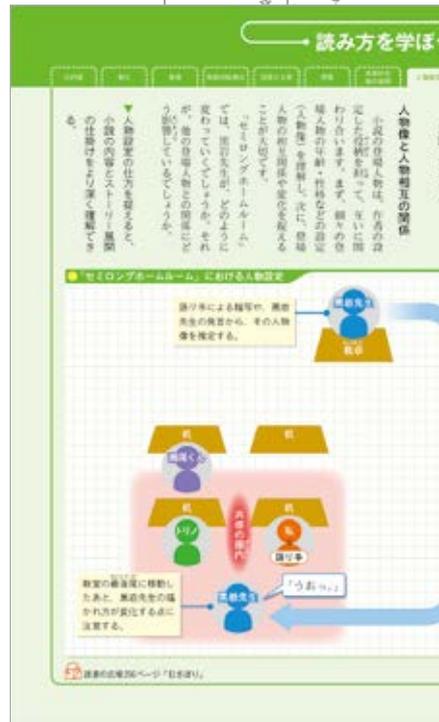
小説は、「その日の四時間め、黒岩先生は少し遅れて教室にやってきた。……」と始まります。それは中学校の教室で、語っているのは、このクラスの「私」です。「私」は、四時間めの「私」と隣の席のトリノ（鳥野）の心配と苦心を語ります。心配と苦心は、トリノの前の席の瀬尾くんにかかわるものですが、そこに黒岩先生も巻き込まれてきます。読者は、語り手の「私」とともに、四時間めの教室の息づまる時間を生きるようになります。そして、タイトルの「セミロングホームルーム」とはなんでしょう。

教材のあとの「読み方を学ぼう」は「人物設定」で、中学生が「わがこと」として読み、体験した作品世界を、あらためて整理することができます。熱中して読むことと、それを突き放して考えることの両方が起こるにちがいません。それぞれの熱中と整理を語り合う授業は、これまでにない新しいものになるはず。どんな授業実践が行われたか、それも、お知らせくださればありがたいと思います。

「私たちは顔を合わせた。」「その二人、前を向け、前を。」黒岩先生がトリノと私を注意した。「すみません。」代表してトリノが謝る。トリノが先生に叱られて「ごめん。」と、トリノは目をすくめて「そんなトリノの前で私に座っている瀬尾くんのこともう一度、じっくり見た。」

令和3年度版『現代の国語』文学的文章教材一覧

1年	2年	3年
<p>詩 朝のリレー 谷川俊太郎</p> <p>物語電 今江祥智</p> <p>物語 空中ブランコ乗りのキキ 別役実</p> <p>随筆 字のない葉書 向田邦子</p> <p>詩 それだけでいい 杉みき子 新</p> <p>小説 トロッコ 芥川龍之介</p> <p>小説 少年の日の思い出 ヘルマン・ヘッセ</p> <p>〔訳〕高橋健一</p> <p>読書の広場</p> <p>小説 電車は走る 重松清 新</p> <p>小説 紅鯉 丘修三 新</p>	<p>詩 名づけられた葉 新川和江</p> <p>小説 セミロングホームルーム 戸森しるこ 新</p> <p>解説 短歌の世界 俵万智</p> <p>短歌 短歌十首</p> <p>詩 大阿蘇 三好達治</p> <p>小説 小さな手袋 内海隆一郎</p> <p>小説 走れメロス 大宰治</p> <p>読書の広場</p> <p>小説 ポテト・スープが大好きな猫 テリー・リアフリッシュ</p> <p>〔訳〕村上春樹</p> <p>小説 むざぼり 辻邦生 新</p>	<p>詩 岩が 吉野弘 新</p> <p>小説 握手 井上ひさし</p> <p>解説 俳句の世界 夏井いつき 新</p> <p>俳句 俳句十句</p> <p>詩 初恋 島崎藤村</p> <p>小説 故郷 魯迅 〔訳〕竹内好</p> <p>小説 坊っちゃん 夏目漱石</p> <p>読書の広場</p> <p>小説 高瀬舟 森鷗外</p> <p>物語 サシバ舞う空 石垣幸代・秋野和子 新</p>



現代の国語

現代社会に必須の読み方

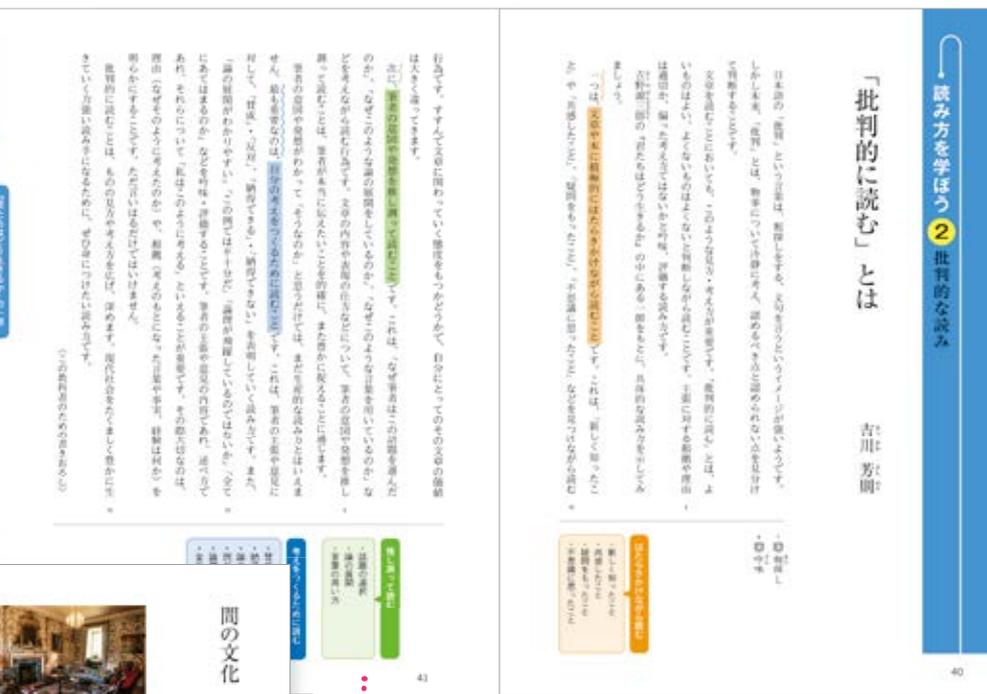
「批判的な読み」を具体的に学ぶ

吉川 芳則 兵庫教育大学大学院教授

平成29年版中学校学習指導要領の「読むこと」の指導事項の第3学年には、注目すべき内容が示されました。「イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること」です。批判的に読むこと（クリティカル・リーディング）が、身につけるべき読み方、読みの能力として明確に打ち出されたこととなります。

現代社会は多種多様、玉石混交の情報であふれています。真に価値ある情報、適切、妥当な情報、そして自分の考えをつくるために必要な情報を見極める目（読みの力）＝「批判的な読み」の力がますます重要になります。

日本語の「批判」という言葉には粗探しのイメージがあります。しかし本来は、よいものはよい、納得できないものではないと根拠に基づいて判断することです。義務教育の最終段階に「批判的な読み」



読み方を学ぼう 3年(p.40)「『批判的に読む』とは」



きっかわよしのり

兵庫教育大学大学院教授。博士（学校教育学）。著書は『論理的思考力を育てる！批判的読み（クリティカル・リーディング）の授業づくり』（明治図書）など。「批判的な読み」は思慮深い生徒を育てます。チャレンジを！

各学年最初の説明文の前に、プレ教材としての「読み方を学ぼう」を折り込み形式で配置しました。

直後の説明文教材で「読み方」を活用することで、確かな力につながります。

著者による解説動画をご覧ください。



3年(p.44)「問の文化」



が位置づけられたということは、中学校1、2年はもちろん、小学校1年からこうした読み方に習熟させよというメッセージでもあります。三省堂『現代の国語』3年の説明的文章の第1教材『批判的に読む』とは、この「批判的な読み」のあり方について解説した文章です。

本文では「批判的な読み」のあり方を三つ述べています。「文章や本に積極的にはたらきかけながら読むこと」「筆者の意図や発想を推し測って読むこと」「自分の考えをつくるために読むこと」です。それぞれ本文での説明に加え、詳しい脚注と、『君たちはどう生きるか』の一節を用いての例示・解説とがあって、「批判的な読み」の方法が実際にわかります。

また本教材は、各学年に六〜八つ示されている「読み方を学ぼう」のうちの一つです。「反復」「具体と抽象」などと同様に、ここでは「読み方」としての「批判的な読み」を学ぶ教材となっています。学んだ読み方を活用して直後に掲載されている教材「間の文化」（長谷川権）を読むことで、「批判的に読む」ことを読み方の一つとして習得できます。

令和3年度版「現代の国語」説明的文章教材一覧

学年	読み方を「批判的に読む」とは	説明的文章教材
1年	読み方をベンギンの防寒着学ぼう 上田一生	クジラの飲み水 大隅清治 玄関扉、渡辺武信 防災に関するデータ新 「みんなであるから大丈夫」の怖さ 山村武彦新 意味と意図 川添愛新
2年	読み方をじゃんけんはなせグー・チョキ・パーの三種類なのか学ぼう 加藤良平	人間は他の星に住むことができるのか 渡部潤一 壁に残された伝言 井上恭介 一〇〇年後の水を守る新 橋本淳司
3年	読み方を「批判的に読む」とは学ぼう 吉川芳則	間の文化 長谷川権 希望 大石芳野新 フロン規制の物語 神里達博 情報社会を生きる 菅谷明子 実用文 菅谷明子 論説 菅谷明子 論説 「文殊の知恵」の時代 北川達夫
	読み方を「批判的に読む」とは学ぼう 早川文代	読書の広場 この小さな地球の上で 手塚治虫 食感のオノマトペ
	読み方を「批判的に読む」とは学ぼう 岡崎稔	読書の広場 見えないチカラとキセキ 浦田理恵・竹内由美 水田のしくみを探る
	読み方を「批判的に読む」とは学ぼう 船戸政一	読書の広場 「ありがとう」と言わない重さ 呉人恵 武器なき「出陣」



深い学びの土台となる 話す・聞く力を育てる

上山伸幸 創価大学講師

教室での生徒と教師、生徒どうしのやりとりのほとんどは話し言葉で行われます。そうした日常の言語活動を向上させるためには、「話すこと・聞くこと」領域の指導の充実が不可欠です。

新教材「グループディスカッション」の特徴

話し合い活動は、読むことの領域や他教科の学習にも生かすことができるため、特に重点において指導したい活動です。『現代の国語』では、各学年冒頭に「グループディスカッション」の教材を設けることで、3年間にわたり系統的な指導ができるように工夫がされています。

話し合いの授業では、話し合いを深化・活性化させるための方法を学ぶことが目指されます。そのため、教材から「話し合いのこつ」を見つけ、実際の話し合いで活用したあとに、その効果を振り返る活動が盛り込まれています。

日常に生きる話すこと・聞くことの教材

話すことの教材では、「スピーチ」「プレゼンテーション」「パブリックスピーキング」をとおり、論理的に話す力を育てることができます。いずれも、学んだ内容を生徒が日常的に活用できるよう、つけたい力が明確化されています。

こうした話す・聞く活動をとおして、他者と言葉を交わす価値も学ばれることが期待されます。



うえやま のぶゆき

創価大学教育学部講師。共編著に『文字化資料・振り返り活動でつくる小学校国語科「話し合い」の授業』（明治図書、2018年）がある。最近、絵本についても勉強中。

3年	2年	1年
<p>新三読 読んだ内容を話す</p> <p>計画 最初に計画を立てる</p> <p>整理 意見を整理する</p> <p>質疑 別の議題への意見を促す</p>	<p>発言 考えを言い入れる</p> <p>対論 反対意見を述べる</p> <p>発見 新しく発見する</p> <p>ついで 授業の時間を述べる</p>	<p>発表 アイデアを話す</p> <p>質疑 理由を問いかける</p> <p>話し 相手の意見を促す</p> <p>確認 発言内容を確かめる</p>

3年間で12の「話し合いのこつ」を提示しています。教科書の中でも繰り返し活用できる工夫をしています。



1年(p.30)「グループディスカッション」

「書くこと」で育てる思考力

宮城 信 富山大学准教授

なぜ「書くこと」が必要なのでしょう。思考力はどう伸ばせばよいのでしょうか。『現代の国語』では、「書くこと」教材から思考力の向上を目指します。

『現代の国語』の「書くこと」の意見文系列の教材は、第1学年の意見文から、第2学年の論説文、第3学年の批評文へと発展します。これらの教材では、文章を書く際の準備から交流・推敲まで、活動の流れを意識できるように配慮しています。また、生徒がすぐ活用できるように「三角ロジック」を用いて異なる立場の論理構造を図解し、文章構成の型やポイントも示しました。課題や題材の見つけ方、すぐに文章で使える表現も多数提案しています。

あとは心ひかれる題材を見つけるための魅力的な仕掛けを用意するだけです。よい論説文や批評文を書くには、最初に課題

や題材（着眼点）と主張（解決法）を見つけて、構成をしっかりと考えることも重要です。

『現代の国語』ではこの準備に多くの活動をあてています。ぜひ、この時間を大切にしてください。生徒が文章の特徴や論理構造について熟考することで、よい文章を書き、論理的に考える力を高めることができます。



みやぎ しん

富山大学人間発達科学部准教授。専門は日本語学（言葉の意味と体系の分析）、国語科教育学。現場と協働して指導法改善・教材開発に日々奮闘中。



2年(p.194)「論説文」



1年(p.196)「意見文」

語彙の質を充実させる

安部 朋世 千葉大学教授

語句を使いこなすためには、「量の充実」だけでなく、語句と語句との関係性を把握し意味や用法等の違いを掴む「質の充実」が重要です。『現代の国語』には、語彙の量はもちろん、質の充実を目指す教材が複数用意されています。その中でも特徴的なのが、ほぼ全ての教材に設けられた、教材に関連する語句を取り上げてその類義表現を紹介する「語彙を豊かに」です。「批評・評価するときの表現」を批評文作成に生かすといった、対応する教材と直接関連させた活用ももちろん可能ですが、教材に縛られない活用が可能である点に特徴があります。「記憶・思い出に関する言葉」といった意味的な関係性だけでなく、「補助的な意味をつけ加える言葉」「〜性」「不〜」等、「推」を使った言葉（「推理・推測」等）といったさまざまな「関係性」のもとに語句が紹介され、「関連性」の多様なあり方の一端を学ぶことができます。更に、語構成や漢字の学習との関連、「読み方を学ぼう」

や「思考の方法」との関連など、学習者や授業の状況に応じた活用が可能です。

その他、「言葉発見」の「上位語・下位語」「類義語・対義語、多義語」等の学習は、「語彙を豊かに」等の学習と関連させることで、類義表現の関係性をメタ認知し、理解をいっそう深めることにつながります。資料編「語彙の広がり」では、語句の一覧などを提示し、必要に応じて学習者自身が自由に活用できるようにしています。これら三つの教材の特徴を生かした学びは、語彙の質を充実させることにつながります。



あべともよ

千葉大学教育学部教授。専門は日本語学。現在は、日本語学と国語教育との架橋的研究を目指した語彙・文法に関する研究や、文法指導における国語教育と英語教育との連携に関する研究を行っている。



2年 (p.315) 「語彙の広がり」

2年 (p.160) 「言葉発見④ 類義語・対義語、多義語」

3年 (p.75) 書くこと「批評文」

3年 (p.97) 論説「フロン規制の物語」

読書を学ぶ機会を増やす

足立 幸子 新潟大学准教授

平成29年3月告示の中学校学習指導要領国語編では、読書が「知識及び技能」の「3」我が国の言語文化に関する事項」に位置づけられました。これをふまえ、『現代の国語』には、読書の教材として次の3系統を掲載しています。

- 1 私の読書体験 2 読書活動
- 3 読書の広場（小さな図書館・読み物5編）
- 1 は、新しく作成したページです。我が国の言語文化の担い手といえる著名な作家、又吉直樹氏・小川洋子氏・宮下奈都氏に、中学生時代の読書体験について語ってもらいました。この教科書のための書きおろし教材です。
- 2 は、国語科の授業として行える読書活動を紹介した教材です。1年でブッククラブ、2年でビブリオバトル、3年でブックトークを取り上げています。
- 3 の「小さな図書館」は、各学年で読んでほ

しい図書をテーマ別に47冊示したリストです。紹介文の字数を増やし、図書の内容がすぐわかるように改善しました。このリストにあがっている図書は学校図書館に備えていただき、生徒が実際に手に取れるようにしていただければと思います。更に、その場で読める各ジャンルの読み物5編を収録しました。

以上の教材を活用して、生徒が国語科の授業において我が国の言語文化である読書を学ぶ機会をぜひ増やしていただきたいと思います。



あだち さちこ

新潟大学人文社会科学系准教授。専攻は国語科教育学、読書指導論、読書・「読むこと」の評価。

読書の広場

1年(p.238)「小さな図書館」



読書活動

1年(p.181)「ブッククラブ」

「私の読書体験」の著者による解説動画、エッセイをご覧ください。



私の読書体験

1年(p.92)「本を読むことのおもしろさ」
又吉 直樹



2年(p.84)
小川 洋子



3年(p.84)
宮下 奈都

資質・能力向上への 取り組み

小学校からの円滑な接続

小学校での多様な学習からの継続性に配慮し、中学校ならではの学習へスムーズに展開できるように教材を配列しました。

◎1年単元第1単元の工夫

1年単元第1単元は、ものの見方を広げるとともに、詩の形式を学習できる「朝のリレー」からスタートし、読む楽しさを味わい、成長する喜びを感じ取れる物語「竜」、さまざまな場面での話し合いに生きる「グループディスカッション」と、学級開きにふさわしい教材配列としました。

◎小学校の学習内容を確認

「読み方を学ぼう①説明文の基本構造 ペンギンの防寒着」は、小学校で学習した説明文の読解の基礎・基本を確認できる教材です。直後の「クジラの飲み水」の学習に、スムーズに接続できます。



他教科、社会生活への広がり

実践的な言語活動や技能の習得をとおして、さまざまな学習の場面や社会生活で生きてはたらく力を育成します。

◎グループディスカッション

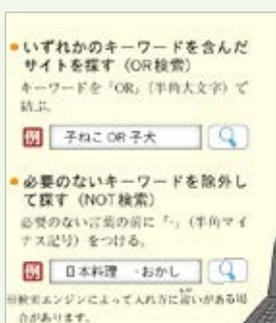
3学年通して第1単元に配列しました。学年のはじめに話し合いの方法を学習することで、他教科も含めたあらゆる場面で活用できます。

◎思考の方法

考えを深め、確かなものにするための方法を、学習活動に即して図解でわかりやすく示しました。各教材で繰り返し示すことで、汎用的な技能として定着します。

◎資料編

インターネットや図書館の活用方法、メモの活用方法など、他教科の学習や社会生活における言語活動を支える知識や技能を整理して示しました。



思考の方法



令和3年度版『現代の国語』は、これからの時代に求められる確かな資質・能力が身につく教科書です。

学力調査等をふまえた学習と入学試験への対応

◎学びの道しるべ

条件に応じて答える、図表を読み取るなど、学力調査等で明らかになった課題をふまえ、それらを克服できるような設問をもちこみました。

◎読み方を学ぼう

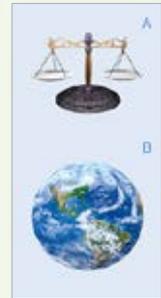
多様な読み方を系統的に身につけることで、初見の文章にも活用できる能力を育成します。

◎課題作文（3年 p52）

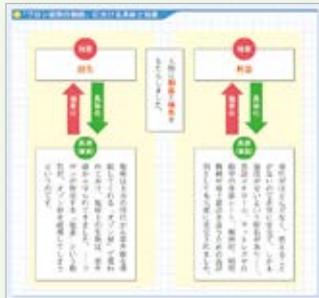
与えられた条件に合わせて、グラフから読み取って考えたことを書く力を身につけます。

◎パブリックスピーキング（3年 p102）

公の場で提案・主張する学習活動をおしりて、面接試験での自己PRにも生きる力を養います。



「正義の秤」と「地球」といふ二つの象徴を並べて、正義と地球のつながりについて考えさせよう。



（例）
 ・四角構成で、「○○」の字種は赤く、グラフA、Cから二つを取り上げる。
 ・第一段落には、グラフから読み取ったこと、気づいたことを書く。
 ・第二段落には、自分の体験をふまえて、今後の学校生活や社会生活で取り組みたいことなど、自分の考えを書く。

教育のICT化への対応

◎二次元コード

「読書の広場」の教材には、「読み方を学ぼう」で身につけた方略を活用する課題を設定しました。課題に示した二次元コードを読み取ると、「読み方を学ぼう」を活用した図解例を閲覧できます。

古典教材には、他の章段へと読み広げる課題を設定しました。課題に示した二次元コードを読み取ると、他の章段等の原文と現代語訳を閲覧できます。

◎デジタル教科書・教材

教科書を立体的に学べるコンテンツや機能を多数収録しました。拡大本文リフロー、朗読音声、「話すこと・聞くこと」動画、閲覧資料などで、より深い学びを実現します。
 ▼詳しくはp30をご覧ください。

こちらから実際のページをご覧ください。

こちらから体験版をご覧ください。



1年「三角ロジック」を「この小さな地球の上で」で活用した例



1年「故事成語」

国語と書写の連携

国語と書写の教科書を一緒に使うことでより効果的な学習ができます。



表紙と学年色

表紙は、国語・書写ともに古田忠男さんによる描きおろしです。また、教科書内の学年色は同系色にそろえました。



学びの「はじめ」と「終わり」を同じ詩で

「朝のリレー」を国語1年の第1教材と書写の巻頭詩に、「さくら（独唱）」を国語3年の「歌の言葉」と書写の巻末歌詞に採録しました。

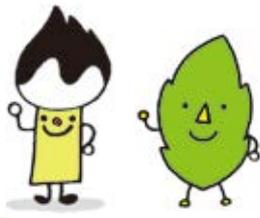
こんなに連携しています！

「学び方」を学ぶ

国語の「読み方を学ぼう」と、書写の「書き方を学ぼう」はともに、「学び方」を身につけることを重視して設定しました。



それぞれの「学び方」を上げています。

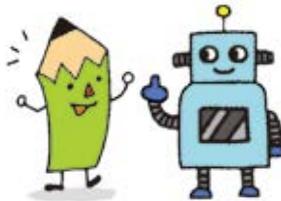


書写1年では「竹取物語」を、2年では「枕草子」を取り上げました。国語で学習した古文に親しみながら、書き方の学習ができます。

古文を国語で「読み」、書写で「書く」



書写は手書き文字で掲載しています。



学年末教材

同じ活動を取り上げ、国語で内容を学習し、書写で書き方を学習します。教科書を一緒に使うことで、限られた時間で効果的な授業ができます。



1年では「グループ新聞」を作ります。



習すべき内容がひとめで
を学ぼう」を設定し、そ
明確に示しました。

特徴 1

ひとめでわかる
学習内容

特徴 2

ポイントの明確化
「書き方を学ぼう」

> p.26-27

未来を担う学習者が、この教科書をとおして自分の文字をよりよくしていきながら、
社会生活の中で生かせる書写の力を獲得することを目指しました。
ここでは『現代の書写 一・二・三』の五つの特徴をご紹介します。

社会生活に生きる書写の力

『現代の書写』の特徴

硬筆で繰り返し書いて、
学びを確かなものにします。



特徴 3

ふだんの文字に生かす
「書いて身につけよう」

> p.26-27



ウェブサイトでは
特徴を動画で
ご紹介しています。



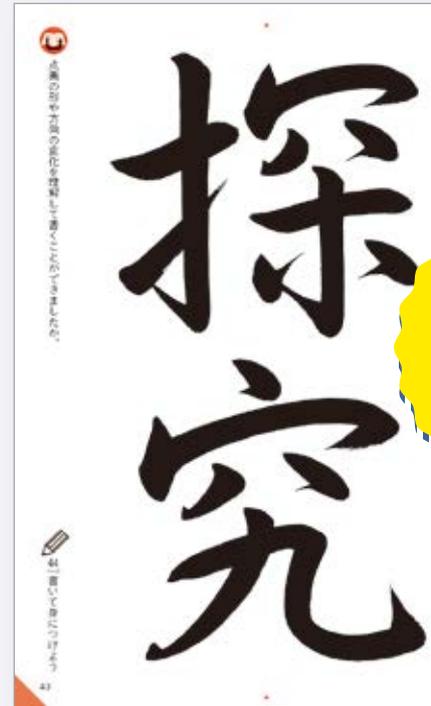
各教材を見開きで構成し、各教材で学
 わかるようにしました。冒頭に「書き方
 の教材で学習する書き方のポイント」を



特徴 4
 豊かな文字文化に
 ふれる



手書き文字の魅力を伝え広めながら社会
 で活躍する人々を紹介しています。自分自
 身と文字との関わりについて考えること
 で、豊かな文字文化の担い手を育てます。



特徴 5

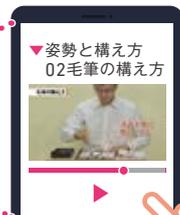
小学校書写との連携、
 高等学校芸術科
 書道への接続



- 毛筆
 - 姿勢と構え方
 - 大筆の持ち方
 - 小筆の持ち方・構え方
 - 筆の運び方
 - 用具の扱い方
- 硬筆
 - 姿勢と構え方
 - 鉛筆の持ち方

二次元コード

タブレットなどで読み取ると、
 次の動画を閲覧できます。



小学校書写での学習内容を確認して定着させるとともに、
 高等学校芸術科書道への幅広い興味を促す教材を設けました。



教えやすく学びやすい 三つのサイクル

谷口邦彦 安田女子大学教授

令和3年度版『現代の書写』は、学校生活や社会生活に技能を生かすための書写の学びを追究し、主に次の三つのサイクルで編集しました。

「書き方を学ぼう」では、ポイントがひとめでわかるよう拡大して示し、解説を加えました。書き方のポイントを確かめることは、目標（めあて）を明確にすることでもあります。ここでは、特にポイントを把握しやすい象徴的な文字を取り上げています。また、コーナーの上部には、学習の進み具合を把握できる見出しをつけ、学習の流れを確認できるように配慮しました。

また、実際に学ぶ毛筆例から確認したポイント「見つける」活動も設定しています。これから学ぼうとする毛筆例からポイントを見つけることは、自分の文字をよりよくするための理解を促すことや、次々に他の文字へ応用していくことにもつながります。また、書き写すだけの活動にならないためにも有効となるでしょう。

特徴 2

ポイントの明確化
「書き方を学ぼう」



くにぐち

安田女子大学文学部書道学科教授。専門は書写書道教育学。考えたりまとめたりする学習の場面や、人と人との関係の中で、相手や目的に応じて書き分けていける書写の力は、これからも求められ続けるでしょう。

「書き方を学ぼう」で学んだ書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているかを考えます。

更に、「書いて身につけよう」では、ふだん使う文字を取り上げ、繰り返し練習しながら身につけていけるよう書き込み欄を多く設けました。書き方のポイントを理解できても、書こうとする文字（文字群）に使えなければ学校生活や社会生活に生かすことはできません。そのため、教科書内では可能な限り多くのスペースを割り、繰り返し書いて確かめられるよう配慮しています。

新しい学習指導要領で「知識及び技能」に位置づけられた書写は、国語科の目標の「(1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする」とことと対応しています。書写の知識や技能を身につけることは、文字を書けるようにすることと同時に、「使う」ことができるようにすることが求められているのです。『現代の書写』は、書写における知識や技能を習得していく活動を、教えやすく学びやすい作りにするため、わかりやすく自然な三つのサイクルで示しました。

特徴 3

ふだんの文字に生かす
「書いて身につけよう」



振り返り内の課題は、全国学力・学習状況調査の結果をふまえて設定しています。

さまざまなタイプの書き込みページを設けました。毛筆で書いて学習したことを、硬筆で繰り返し書くことで、社会生活で活用できる確かな力として定着させます。

現代の書写

ユニバーサルデザインへの取り組み

特別支援教育の観点から

全ての生徒にとって、読みやすく学びやすい教科書となるよう、特別支援教育の専門家による校閲・検証を十分に行っています。

● 学習しやすい書体

読みやすく、学びやすい独自の明朝体・ゴシック体・教科書体を開発し、画数や点画の方向等において誤解が生じないように配慮しました。

● 上段・下段で情報を区別

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材、「読むこと」の「学びの道しるべ」では、学習の手順を上段に、その他の参考となる情報を下段に示すなど、わかりやすく情報を整理し、スムーズな学習指導ができるよう配慮しました。

● 見開き完結のレイアウト

見開きによる情報のまとまりを重視し、学習に必要な内容が次のページにまたがらないようレイアウトを工夫しました。



● 図解でわかる

「読み方を学ぼう」や「思考の方法」をはじめとして、わかりやすい図解を随所に用いることで、内容を視覚的に捉えられるようにしています。

令和3年度版『現代の国語』
『現代の書写』は、全ての子供たちが、
使いやすく学びやすい教科書です。

カラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から

カラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと、色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しています。

● 色以外で見分ける工夫

色だけの違いに頼らず、色の濃淡や罫線、形の違い、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。

● 識別しやすい配色

古典教材の現代語訳では、色覚の特性による見え方の差が少ない青色を用いました。

造本上の工夫

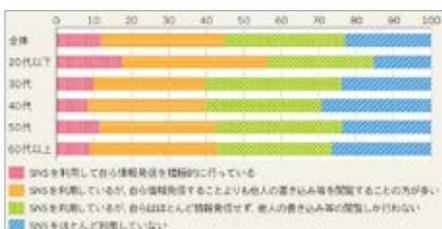
教科書用紙や製本方式においても、全ての生徒が学びやすくなるよう配慮しています。

● 紙の開発

生徒の負担軽減のため、十分な強度を保ちつつ、薄くて軽い紙を開発しました。

● 製本上の工夫

製本方式を変え、従来よりも教科書が開きやすくなりました。ページが十分に開き、戻りにくいことで、より読みやすい紙面を実現しました。



指導書・教材のご案内

令和3年度版『現代の国語』
『現代の書写』を中心としながら、
さまざまな学習指導プログラムを
提案します。



『現代の国語』

■ 学習指導書 各学年 上中下巻

*年間学習指導計画や教材の詳しい解説、標準的な学習指導の展開などを掲載。



▼こちらからサンプルをご覧ください。



〔学習指導書同梱資料〕

- 「読み方を学ぼう」活用ガイド
- * 「読み方を学ぼう」を授業で活用するためのガイドブック。
- データDVD-ROM
- * 年間学習指導計画や、「読むこと」教材の本文データ、ワークシート、テスト問題例、「話すこと・聞くこと」動画などのデータを収録。
- 補充教材集
- * 教科書採録教材以外に、補充や発展のための教材や、テスト作成に活用できる教材を精選。

■ 朗読CD 朱書編

*指導書・教材類の例です。企画中のため、内容・仕様等については、変更になる場合があります。

国語科ICTの これから

これからの国語科の授業・学習は、ICTの長所をどのように生かしていくとよいでしょうか。

Q1 今後、すべての授業で、先生と生徒がICTを使うことになるのでしょうか。

これまで、先生がデジタル教科書・教材を提示してわかりやすく教えることが行われてきました。このたびの「GIGAスクール構想」によって、令和5年までに全ての生徒に情報端末を配備するべく予算がつかまりました。これによって、全ての普通教室で、生徒が必要なときに情報端末を使う授業ができるようになります。自治体によって整備のスピードは異なりますが、時間の問題だと思います。

Q2 授業でICTを使う意義はなんですか。

学校では黒板を見ながら紙と鉛筆で学習している生徒たちの多くは、家庭ではICTを使いこなし、デジタルのコンテンツに慣れ親しんでいます。現在はICTをうまく活用して仕事をしている社会であり、ICTを使いこなすことが仕事の能率に関わっています。これからの時代を生きていく生徒たちは、紙と鉛筆だけでなく、ICTも学びの道具として学習する経験が必要です。とりわけ言葉を扱う国語の授業では、さまざまな言語活動でICTが有効に機能します。

Q3 デジタル教科書・教材の活用の「コツ」を教えてください。

ICTツールは多種多様にありますが、それぞれに「得意技」があります。デジタル教科書・



回答者

東北大学大学院教授
堀田 龍也 (ほりた たつや)

専門は、教育工学・情報教育。主な著書に『情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術』（三省堂）、『だれもが実践できるネットモラル・セキュリティ』（三省堂）、『「これからの教室」のつくりかた』（学芸みらい社）、『プログラミング教育導入の前に知っておきたい思考のアイデア』（小学館）等。

教材の「得意技」は、教科書を構造的・立体的に見せることだと思います。

学習場面に合わせて、教材文の一部や図表に注目させたり、それらに直接書き込んで保存したり、逆に俯瞰して学びの現在地を確認したり、といったことが簡単にできます。また、教材に即した音声や映像資料、フラッシュカードなどのコンテンツも豊富で、教科書の内容をより深く学ぶことが可能です。

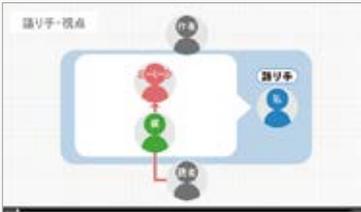
Q4 手始めに、どんな取り入れ方がよいでしょうか。

慣れないツールを使うとき、はじめは誰でも失敗します。先生が使う場合、使うのは授業のはじめと終わりだけ、操作は紙面の拡大だけ、と場面を絞ってもよいと思います。今の教科書

■ 教材に即したコンテンツで学びを深める。



便覧資料(3年「おくのほそ道」)



「読み方を学ぼう」解説動画(1年「少年の日の思い出」)



「話すこと・聞くこと」教材の動画



新出漢字一覧(フラッシュカードもあります)

■ 対訳表示や抜き出し機能で教材文を丁寧に読む。



拡大本文画面(1年「竹取物語」)

は、「目標」や「手順」「要点」などがまとめて示されていますので、そこを拡大して赤ペンで強調するだけでも、大切なことを一瞬で共有できます。フラッシュカードなども、慣れないうちでも使いやすいと思います。

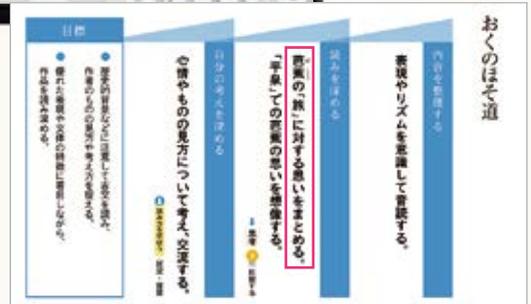
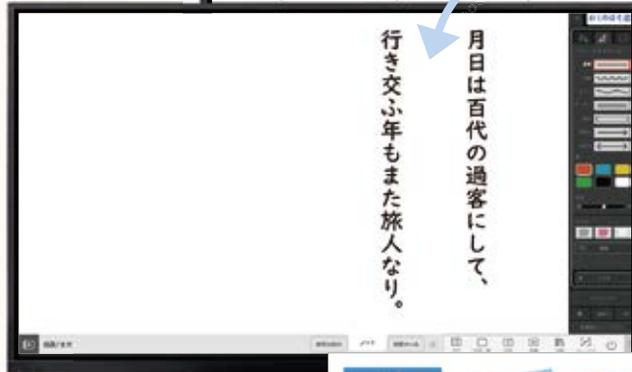
また、生徒に使わせる場合は、授業の終末に「良かったこと」「思ったこと」などの振り返りをICTで入力させて蓄積させていくことだけでも効果があります。生徒の端末に入っている、汎用性の高いプレゼンテーションソフトや文書作成ソフトを活用するとよいでしょう。最初は欲張らず、まずは小さなことから始めてみるのが最大のコツです。

■ 紙面や拡大本文の一部を抜き出して焦点化する。

教科書紙面画面(3年「おくのほそ道」)



ノート画面



学習の流れチャート

■ 学びの現在地を俯瞰する。

こちらから体験版をご覧ください。



※指導者用デジタル教科書(教材)の例です。企画中のため、内容・仕様等について変更になる場合があります。

対話して行動する チームのつくり方

楽しみながら身につく話し合いの技法

橋本 淳司



対話をとおしてアイデアを生み出し、アクションを起こす「未来アクション部」の生徒たちの奮闘と成長を描く。「主体的・対話的で深い学び」の進め方を、スキルを図解しながら物語仕立てでやさしく解説する。

A5判 128ページ
本体1,800円+税 ISBN 978-4-385-36516-9

フィンランド×日本の 教育はどこへ向かうのか

明日の教育への道しるべ

北川 達夫・高木 展郎



3年にわたる訪問をとおして見えてきたフィンランドの教育を、先行事例として参照することにより、日本の教育が進むべき方向を考察する。フィンランドの教育の「本当」が、「明日」の日本の教育を照らし出す。

A5判 208ページ
本体2,300円+税 ISBN 978-4-385-36586-2

令和3年度版 中学校国語・書写教科書 ウェブサイトのご案内

- 令和3年度版『現代の国語』・『現代の書写』の特徴
- 内容解説資料・教科書ダイジェスト
- 各種資料
(年間学習指導計画作成資料・評価規準一覧 他)

随時更新予定

三省堂 国語教科書

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/03gkpr/>
<https://tb.sanseido-publ.co.jp/03gspr/>



■ 著者からのメッセージ動画



又吉直樹先生



夏井いつき先生

株式会社三省堂

「教科書・教材サイト」 <https://tb.sanseido.co.jp/>

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 03-3230-9411(編集)・9412(営業)

- 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-5-3 06-6341-2177
- 名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F 052-953-9211
- 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 092-531-1531
- 札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F 011-616-8722